



子どもたちの笑顔のために！えびの市「学校の働き方改革」

～教職員のウェルビーイングの向上と、質の高い学校教育の実現に向けて～

現状の課題



・教頭先生の6割以上（62%）が月45時間超の時間外勤務を行っています。

・中学校の教諭等においても、約22%が月45時間超の負担を抱えています。



先生たちに負担が集中し、授業準備や子どもたちと向き合う時間が削られています。

令和10年度までの目標



残業時間

月45時間以内の先生を「90%以上」へ



活力

仕事に活力がみなぎる先生「80%以上」へ



誇り

仕事に誇りを感じる先生「90%以上」へ

計画の目的（ウェルビーイングの向上）

先生が心身ともに健康で、情熱をもって授業や子どもたち一人一人にしっかり向き合える環境をつくれます。これにより「学校における教育の質の向上」と「児童生徒の教育の充実」を図ります。



きめ細やかな指導の充実

「30人学級」や「特別支援教育支援員」の配置を推進し、一人一人の実態に応じた質の高い指導を実施します。

サポートスタッフの積極配置

「校務支援員」や「スクール・サポート・スタッフ」が事務や印刷等を担い、先生が授業に集中できる環境を整えます。

校務DXによる効率化

欠席連絡やアンケートのデジタル化、生成AIやICTの活用により、事務作業時間を削減して時間を生み出します。



みんなで支える学校づくり ～役割分担とご協力のお願い～

①地域・保護者の皆様へ

ご協力・ご理解をお願いしたい業務

・登下校の見守り

地域や保護者の皆様による通学路の安全確保活動の継続

・夜間見回り、補導対応

勤務時間外の校外見回りは原則行わず、補導時等の引き取りは保護者が第一責任を負う認識の共有

・地域行事の連絡調整

キャリア教育支援センターや、地域学校協働活動本部を中心とした調整体制づくり



②専門人材・外部で担う

専門スタッフやICT等で効率化・分担

・部活動の地域展開

休日や平日の部活動を地域クラブへ段階的に展開（令和13年目標）

・集金・事務処理

学校徴収金処理を校務支援員等が担当し、先生の負担を軽減

・施設管理、ICT

体育館の開放管理の事務手続きの電子化や、事務職員等及びICT支援員の積極的な活用



③先生が専念する業務

教師だからこそできる指導に特化

・質の高い授業の充実

質の高い授業にするための準備や魅力的な教材研究の徹底

・児童生徒への丁寧な指導

学習評価や個別の学習・生活指導、悩み相談など、児童生徒としっかり向き合う

・関係機関との連携

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携した適切な生徒指導



地域全体で子どもたちの豊かな学びと成長を温かく支えていきましょう

先生がゆとりをもって笑顔で子どもたちと向き合える環境は、子どもたちの健全な成長につながります。皆さまのご理解と温かいご協力をよろしくお願いいたします。